

「間伐・間伐材利用コンクール」応募申込書

～「市民参加の森林づくり」部門～

受付番号

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん ときのすのもりくらぶ
氏名 (会社、団体名等)	特定非営利活動法人 時ノ寿の森クラブ
住所	〒436-0051 静岡県掛川市中宿113 TEL (0537) 23-0412 FAX (0537) 23-0412

事項		活動の状況等			
活動を始めた動機・きっかけ		当 NPO 代表の出身地は、掛川市中心部から 15km 離れた山間地の 12 戸の集落であったが、1975 年に廃村となり、以降山は荒廃し、川の水は枯渇した。あらゆる生命の源と言われる森林、特に水源林の危機的状況は、流域の安心安全な環境に重大な影響を与え、後世に大きなツケを残すと思い、2006 年に市民団体として森林再生活動を開始した。2010 年に NPO 法人となり、社会全体で森林保全を支えるモデルをめざし、「山と海をつなぐいのちの森づくり」を推進している。			
活動内容		ボランティアの心の拠り所が山に必要なと考え、廃村内にクラブハウスを建設した。自らが森を楽しむことを旨とし、かつ森林所有者との信頼を大切に、所有者に代わって間伐・材木利用を進めている。全市的に森づくりを広めるため、2012 年から行政と連携して「いのちを守る希望の森づくりプロジェクト」を開始し、市内 7 か所に 6 万本の広葉樹の植樹も進行中である。			
平成 25 年度活動計画		静岡県森の力再生事業を導入し、水源林の杉・檜民有林 48ha を間伐し、300t の間伐材利用を目指す。「いのちを守る希望の森づくり」では、広葉樹 13000 本を学校・海岸防災林に植樹する。森づくりを社会に広げるため、山村と都市交流ツアー（刻字体験・陶芸体験）も開催する。			
実行体制・安全対策等		① NPO がコーディネーター役で、森林所有者（間伐承諾）、企業（間伐実行部隊）、行政（間伐費用負担）が三位一体となった「静岡県森の力再生事業」実施体制が構築できている。 ② 安全対策では、NPO 独自で講師を招きチェーンソー安全講習、枝打ち講習等実施してきたが、「森づくり安全技術・技能全国推進協議会」のシステムを導入するべく検討中である。			
実績	除間伐	年度	実施面積	実施回数	参加人数
		活動開始（平成 20 年度）	25.8ha	40 回	360 人
		平成 22 年度	36.0ha	65 回	600 人
		平成 23 年度	42.9ha	80 回	700 人
		平成 24 年度	56.3ha	100 回	900 人
	その他	① 荒廃森林の再生モデルとして早く豊かな姿にするため、間伐後の針葉樹林へ土地本来の広葉樹の植林を実施してきた。すでに平成 20 年度以降の植樹本数は延べ 12000 本を超えた。 ② 間伐材は、年間平均 100t を搬出し、地元製材所及びチップ工場に出荷している。			
他団体や地域との連携		① 市内企業（造園業者）と連携し、技術力と機械力により間伐実行部隊を担ってもらっている。 ② 森林内の残材搬出には地元住民の参加を得ており、持続を目指し搬出材木買取り制を模索中。			
写真					

※このままパネルに加工し展示しますので、1 枚におさめて下さい。